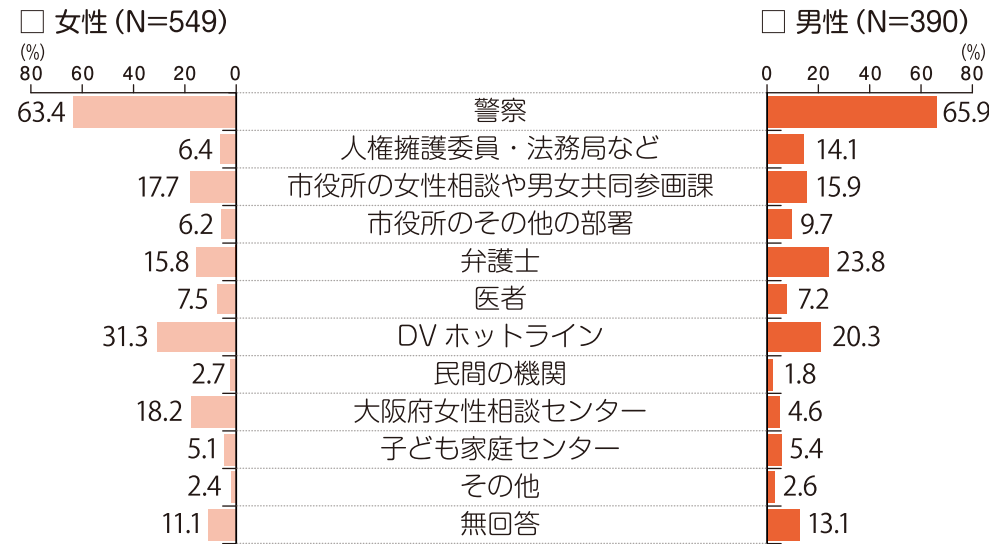


■ DVを受けた場合の相談機関の認知度について

《男女ともに警察の認知度が最も高い》

男女ともに「警察」が最も高く、女性で63.4%、男性で65.9%となっています。次いで、女性では「DVホットライン」(31.3%)、男性では「弁護士」(23.8%)となっています。

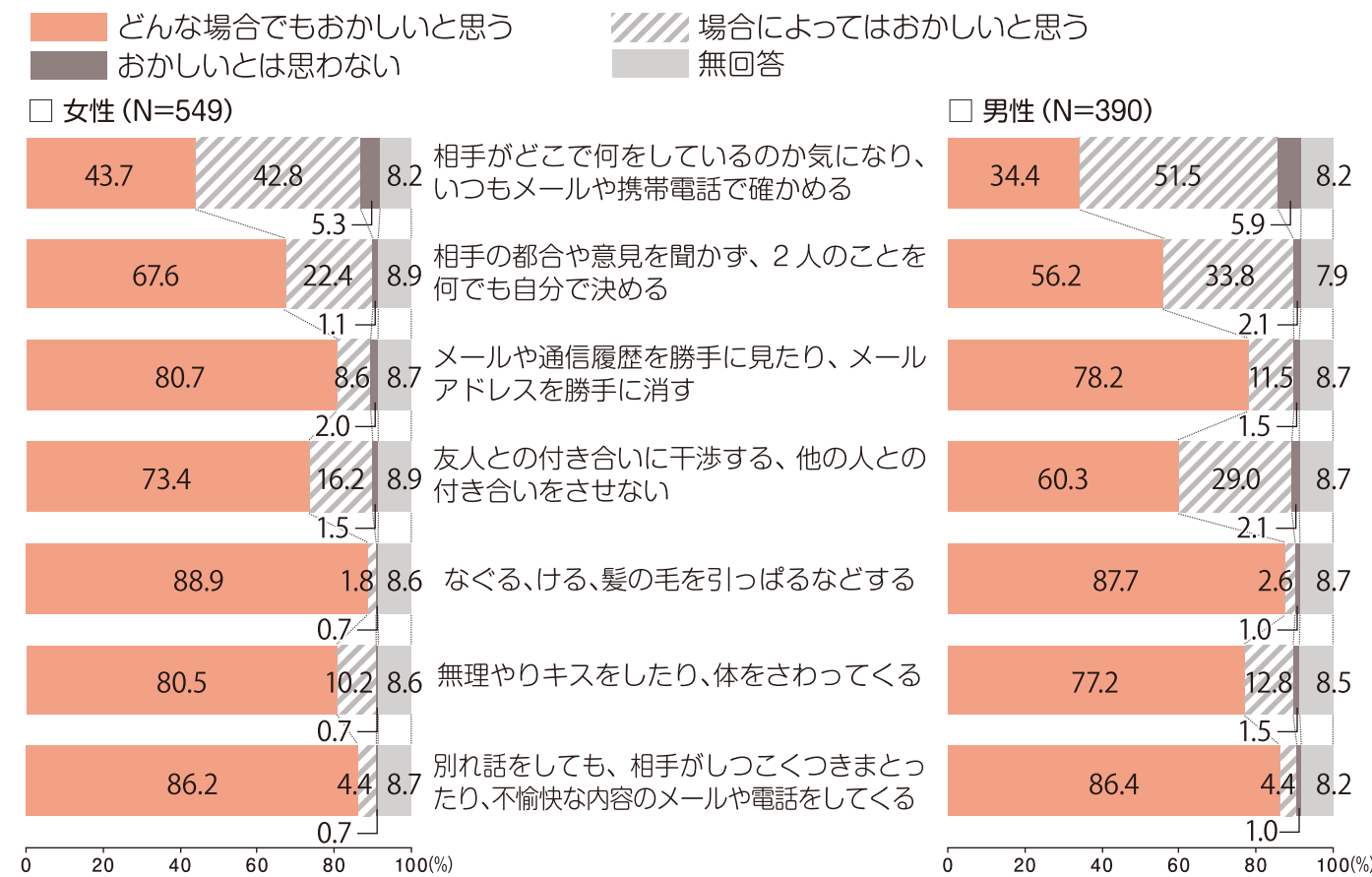


■ 結婚していない交際中の男女間で行われた行為について

《友人とのつきあいに干渉することについて、おかしいと思う割合は女性の方が男性に比べ高い》

交際中の男女間において行われた行為について、男女とも「なぐる、ける、髪の毛をひっぱるなどする」「別れ話をしても、相手がしつこくつきまったり、不愉快な内容のメールや電話をしてくる」をおかしいと思う人の割合が高くなっています。

「友人との付き合いに干渉する、他人との付き合いをさせない」について『どんな場合でもおかしいと思う』という人の男女差が13.1ポイント、「相手の都合や意見を聞かず、2人のことを何でも自分で決める」では女性の方が11.4ポイント高く、男女差がみられます。

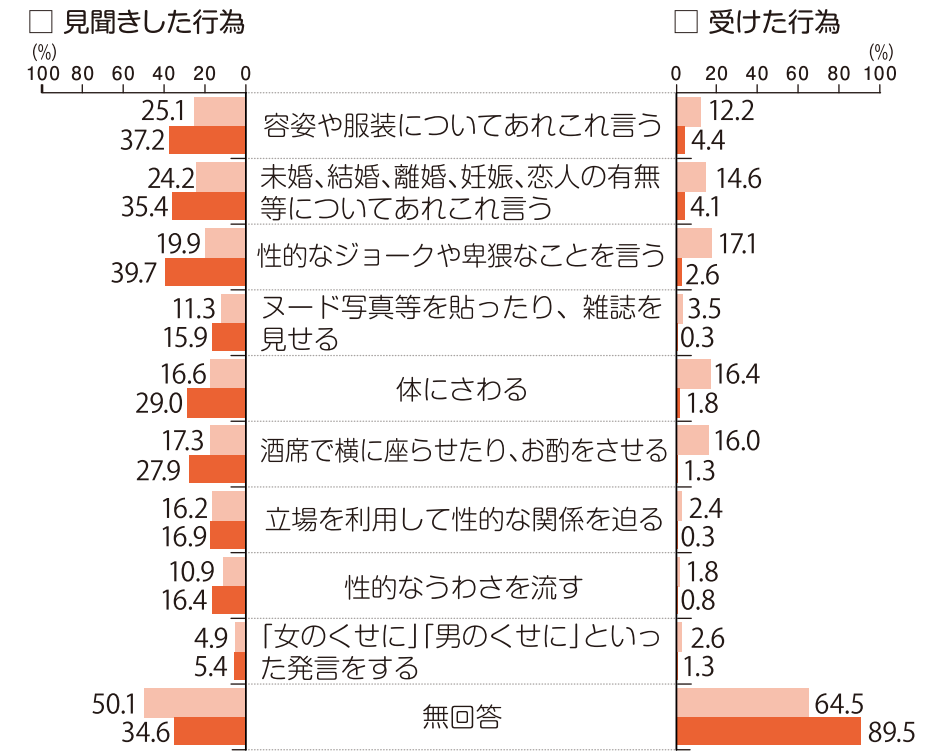


■ 見聞きしたセクハラ行為、受けたセクハラ行為(複数回答)

《「性的なジョークや卑猥なことを言う」は男性が見聞きした行為で最も多く、女性が受けた行為としても最も多い》

見聞きしたセクハラ行為について、女性では「容姿や服装についてあれこれ言う」(25.1%)、男性では「性的なジョークや卑猥なことを言う」(39.7%)が最も高くなっています。

受けたセクハラ行為については、女性では「性的なジョークや卑猥なことを言う」(17.1%)、「体にさわる」(16.4%)、「酒席で横に座らせたり、お酌をさせる」(16.0%)が高くなっています。



■ メディアにおける性・暴力表現について

《男女とも7割の人が性・暴力表現を望まない人への配慮が足りないと感じている》

メディアにおける性・暴力表現について、「性・暴力表現を望まない人や子どもの目に触れないような配慮が足りない」で男女とも約7割が『そう思う』(「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」を合わせたもの)と感じています。「女性のイメージや男性のイメージについて偏った表現をしている」では『そう思う』と感じている人は男女とも半数以下となっています。

